

千代田図書館

千代田区立
千代田図書館
情報誌

さあ、……
図書館に
いこう。

vol.12

気分転換は図書館へ。
程よく静かなこの場所で

仕事のつづきや読書など。

何かに専心した時間が

その日に充足感を与えてくれます。

千代田区立図書館

ホームページリニューアル

コンシェルジュがゆく

趣味の本を探しに古書店へ

古書店編

表紙 小川 哲

千代田探し

さまざまな分野で活躍中の
“千代田人”に聞きました

千代田区立
千代田図書館
館長 望月千恵子

編集の仕事为天職と思い、出版社で35年間本作りを行った後、仕事をする上での共通項は「本」ということくらい。公共図書館に身を置くこととなった新館長は、着任した当初、千代田図書館の中でたくさんの驚きや楽しみを見つけたようです。どのようなところにそう感じたのでしょうか。

私が千代田図書館に勤めるようになって、3年近くが過ぎようとしている。

初めて千代田図書館を訪れたのは、リニューアルオープンして間もない約6年前。会社の同僚と一緒に見学した。その時の印象といえば、「明るくて居心地がよさそう」「皇居を眼下に望むなんて素敵」、それ以上でも以下でもなかった。ただ、帰りの道で同僚が一言、「書棚はあまり利用し甲斐がないわね」。その言葉通りに、以後千代田図書館とは全く疎遠になってしまった…。

当時、私は千代田区にある小さな出版社で雑誌制作に携わっていた。編集の仕事は大学時代からの夢だったし、天職だと信じて35年間本を作り続けてきた。そんな私だったから、本は書籍も雑誌も書店で買うもの、買わなくてはいけないもの。どんな本でもそれは編集者たちの努力の結晶なのだからという思いが常にあった。今ではこう書くと青臭くて恥ずかしくなるが、編集屋の小さなこだわりというか、大きな誤解だったかもしれない。

でも、いくつになっても転機は訪れるものだ。前職を定年退職した私の再就職先が、ナント千代田図書館だったのだから。おかげで編集者時代の誤解は見事に氷解した。

千代田図書館に着任して、開館前のフロアの書棚を散策していたとき、ちょっとしたショックを感じた。自分が読んだ本が見つからない…。ある特定の棚以外は初めて見る本ばかり。「人が生涯で読める本は多い人で2,000冊程度」と読んだ記憶があったが、千代田図書館の蔵書は17万冊だから、わずか1%強。見つからなくて当然なのだが、目からウロコの気分だった。そのタイトルを目で追っていくうちに、何だかドキドキして楽しくなってきた。図書館の魅力に触れた瞬間だったかもしれない。

千代田図書館で自慢したくなったものに、企画展示がある。千代田図書館には専門の部署がある。わずか3人の小さな所帯ながら、大学連携、美術館連携、出版社連携、書店連携などなど、その活動範囲の広さとネットワークの良さは驚きに値する。展示の構成や見せ方も、元編集者も納得のレベルが嬉しい。図書館もなかなかやるじゃない！

もう一つ、素敵な出会いがあった。視察にいらした方たちと一緒に閉架書庫内の内田嘉吉文庫を見たときだ。大きくてがっしり

もちづき ち え こ
千代田区立千代田図書館 館長 望月千恵子

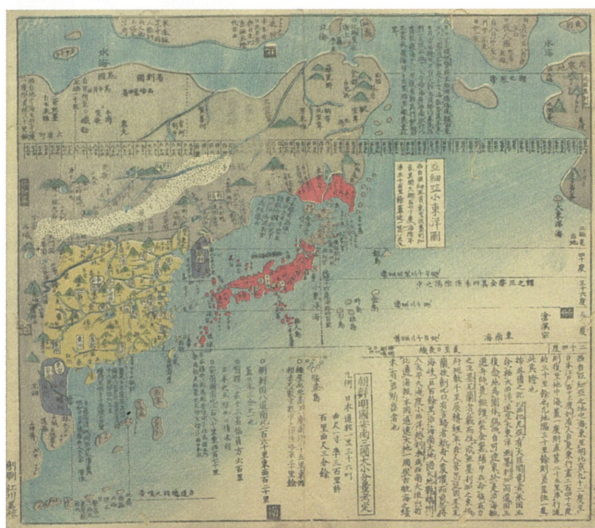
1950年静岡県生まれ。九段中学、日比谷高校を経て武蔵大学社会学部卒業後、出版社に勤務。以後、様々な雑誌の創刊や化粧品情報誌のディレクションを担当。出版社編集長、役員を経て、2010年から千代田区立千代田図書館副館長に就任。千代田区立日比谷図書館文化館の開館にも参画し、2012年12月より千代田区立千代田図書館館長を務める。



とした装幀の1600年代～1800年代の洋書たちは、挿絵や地図も立派で、文章が読めなくても楽しげだ。以来、「内田嘉吉文庫 稀観書集覧」を片手に書庫に出入りするようになった。

「米艦隊日本遠征録」には、ペリー艦隊に随行した絵師の手で幕末の日本が描かれている。「日本支那暹羅景觀」のオイレンブルグ使節団の江戸、長崎の絵の緻密な画法に思わずため息。地図の本「OLD DECORATED MAPS & CHARTS」には、様々な時代の不思議な形の日本と世界が見える。細かい内容はわからなくてもわくわくしてくる。この「内田嘉吉文庫」は、2011年に千代田区立日比谷図書館文化館の特別研究室へ移管し、今では誰もが手に取って見られるようになっている。また、同じ特別研究室に収蔵されている和本や地域資料からセレクトした50点を、千代田Web図書館のコンテンツ「千代田セクション」としてアップし、どなたでもご覧いただけるようになっている。ドキドキ、わくわくの輪が広がっていく。図書館は本当に楽しいんだ！

図書館からどんどん目が離せなくなっている私がいる。



千代田セクション『唐土歴代州郡沿革地図』



展示ウォール風景



千代田区立図書館のホームページが一新しました。イベントや休館日が目でわかるカレンダーや、こどもページへの入口などがTOPページにできました。マイページや蔵書検索ページも使いやすくなっているのでご覧ください。

URL <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>

①マイページ(ご利用状況照会)へログインしやすくなりました。

②カレンダーで各館のイベントや休館日が一目でわかります。

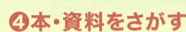
③こどもページができます。 ※4月中にアップ予定

④本探しのときには、まず【本・資料をさがす】をクリック。

⑥貸し研修室の予約ができます。

千代田図書館には大小4つの研修室(有料)があり、打ち合わせや勉強会などにご利用になれます。
こちらからご予約ください。※研修室のご利用には貸出券番号が必要です。

①マイページログイン



画像は実際のホームページと多少異なる場合がございます。

③こどもページ

⑤研修室の予約



趣味の本を探しに古書店へ

開催回数60回を超えた「出張古書店コーナー“としょかんのこしょてん”」（千代田図書館9階）は、神田古書店連盟の方々が、ご自身のお店の特色を活かした展示を1〜2か月交代で行う展示コーナーです。これから紹介する古書店は、過去に担当してくださったお店で、親しみやすい分野の本を扱っている古書店です。目にしたことのない本や懐かしい本に出合えるので、ぜひ足を運んでみてください。



1. 小川図書

洋書

英語・英文学・英学史・言語学関係の古書と洋雑誌を主に扱う古書店。辞書も豊富で、英語以外の外国語の辞書も多く揃います。また、1970年代以前に発行されたアメリカの雑誌やファッション誌も豊富です。語学や海外の文化などに関心を持っている方、勉強している方は必要な本が見つかるかもしれません。

神田神保町2-7
03-3262-0908
<http://ogawatosho.jimbou.net>
10:30〜18:30 日曜・祝日休み



2. 菅村書店

乗り物

車、バイク、航空、鉄道、船舶からプラモデルやミニカーまで、乗り物に関するあらゆる本を扱っています。雑誌や写真集、カタログ、生写真、DVDなども豊富で、ホームページの商品一覧を見るだけでも「こんなに専門誌があるの!？」と驚いて、お店へ行ってみたくなること間違いなしです。

神田神保町1-7日本文芸社ビル1階
03-5281-2877
<http://www.sugamura-syotenn.com>
11:00〜19:00(日祝12:00〜18:00)
火曜休み(不定休)



3. ビブリオ

スポーツ

野球、サッカー、ゴルフ、武道、格闘技など、スポーツ全般の本からサインボールなどの記念品も扱っています。サイン色紙や肉筆は、スポーツ選手のものだけでなく、作家のものまで充実しています。子どもの頃に憧れたスポーツ選手の写真や特集を見て、当時のわくわく感が甦りそうな古書店です。

神田神保町1-25叶ビル1階
03-3295-6088
<http://www.biblio.co.jp>
11:00〜19:00 日曜休み



4. ボヘミアンズ・ギルド

美術

1階には国内外の画集、写真集、建築、デザイン、美術評論からヴィジヨネアやヴォークといったファッション誌などが所せましと並んでいます。2階は限定本や版画、自筆物など、希少な商品が展示されるブックギャラリーとなっており、国内でも有数といわれる竹久夢人の作品コレクションも間近で見ることができます。

神田神保町1-1木下ビル1・2階
03-3294-3300
<http://www.natsume-books.com>
11:00〜19:30(日祝11:30〜18:00)
無休



5. ロックオンキング

音楽

日本のロック、ポップス、フォーク、GSなどに関する本やグッズの専門店。ツアーパンフやファンクラブ会報、ポスター、写真集、邦楽・洋楽のバンドスコアなど、レアなアイテムに出合えます。廃盤になったCDやDVDも見つかるかも。音楽雑誌のバックナンバーは5千冊以上と充実の品揃えです。

神田神保町1-19-1藤本ビル3階
03-5281-2766
<http://www.rockonking.com>
13:00〜19:00 水曜・日曜休み

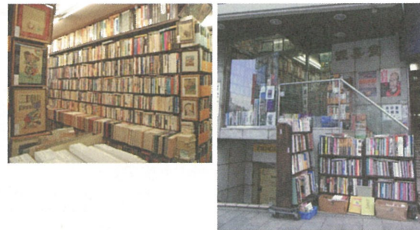


6. 源喜堂書店

美術

絵画、彫刻、写真、工芸、デザインなど美術書全般を扱い、特にずらりと並ぶ展覧会図録や画集の数は圧巻。どの棚も見やすく整理され、タイトルが読みにくい本には手書きの札が付けられているので、気になる本がどんどん目に飛び込んできます。錦絵などの版画類も店頭で200枚以上見ることができます。

神田小川町3-1
03-3291-5081
<http://www.genkido.jp>
10:30〜19:00 日曜休み



■古書販売目録にも注目!

店頭では見られない古書や美術品、商品情報も掲載されている古書販売目録。お店ごとにデザインも内容も様々で、文字情報だけでなく、写真もたくさん掲載されていて見応えがあります。気になる古書店のものは要チェック。また、千代田図書館では、明治から昭和にかけて発行された古書販売目録を約9,300冊所蔵しています。調査研究にお役立てください。

■出張古書店コーナー「としょかんのこしょてん」

神保町の古書店が、1店舗ずつ各1〜2か月間、お店で扱っている古書からセレクトして展示会を構成しています。展示名から解説まで、各古書店ならではの見せ方が興味をそそります。貴重な本も出品され、ほとんどのものが購入できます。千代田図書館9階=レファレンスサービスカウンター前



出版に関する本を集めたコーナー ～出版にまつわる本棚～

千代田図書館9階の赤い棚ゾーンに「出版にまつわる本棚」があります。出版産業が千代田区の地域産業のひとつであることから、「出版」の一連の事柄がわかる資料を集めています。出版業や本、書店などにご興味のある方はぜひ一度ご覧ください。



出版にまつわる本棚

配架冊数：約1,120冊 場所：千代田図書館9階＝調査・研究ゾーン内

コーナー分類	内容	検索ワード	およその数
出版史	出版の歴史や検閲・言論統制など	出版史	280冊
出版業	編集や出版社、社史、製本、印刷、それに関わる人物についてなど	出版業	540冊
出版流通	取次や書店の歴史や実態、古書や古書店、書評についてなど	出版流通	200冊
動向と展望	IT化や流通論など	動向	85冊
その他	洋書など	—	15冊

※上記を検索する際は、蔵書検索の「請求記号」に検索ワードを入力すると絞り込みができます。「その他」は絞り込み検索不可。

企業のすべてが分かる社史

「出版業」の中に出版関係の企業の社史が約180冊あります。その一部をホームページの「出版にまつわる本棚」のページで紹介しています。社史の内容や目次、企業の歴史などを詳しく解説し、その企業の関連文献やリンク先などを記載しています。こちらも随時更新いたしますので、たまにチェックしてみてください。

社史紹介の一部をご紹介します

東京堂（書店・出版）

『東京堂百二十年の歩み』2010年発行

創業百二十年の記念事業として刊行され、創業から平成21年までを記述している。博文館との深い絆や、現在の実践学園の前身となる社員教育のための東京堂教育所、日本出版配給株式会社と東販（現・トーハン）への関わり、書店と出版を分社化しての新たな出発など、おおむね社長ごとに時代を分けた章立てで、全8章からなる。創業から戦前の東京堂は、取次業の雄として日本の出版流通システムの確立に深く関与したため、一出版・取次会社の歴史記録というだけでなく、日本の出版業界全般の動向を伝える資料にもなっている。また、巻末の「出版物刊行一覧」も、明治・大正時代は網羅されていないとは言え、明治から平成にかけての東京堂の運営、また、書籍の判型の流行、価格の変遷等の一級資料と言えよう。



一誠堂書店（書店）

『古書肆100年 一誠堂書店』2004年発行

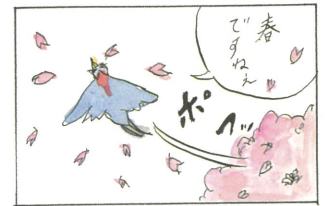
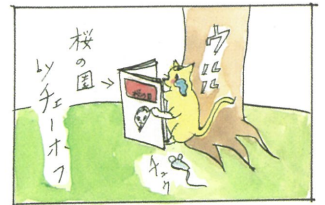
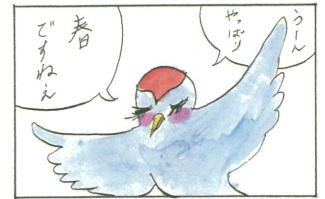
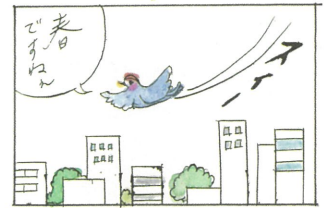
創業100年を記念し刊行された。「100年の時間」の章では、創業者・酒井宇吉の生まれた明治20年より、年次ごとに一誠堂書店に関わる事項と社会事項が記され、時代の流れとともに企業の発展と古書業界の歴史を知ることができる。また、その年に行ったコレクションの買入れや売立、評価の記載があり、一誠堂書店が取り扱った数々の稀覯本を知ることができる。「古書肆の仕事」の章では、一誠堂書店出身の古書店主らの座談会を収録し、社員としての立場から回顧する。「愛書家とともに」の章では、平成15年に催された「創業100周年記念講演会」での国文学者・久保田淳氏、仏教美術学者・杉山二郎氏の講演と、研究者・文化人らの「一誠堂で出会った心に残る一冊」を収録している。

株式会社 竹尾（紙卸商）

『紙とデザイン 竹尾ファインペーパーの50年 株式会社竹尾 創立100周年記念』2000年発行

創業100年を記念し刊行された。主な内容は、50人の著名なクリエイターが、これまで竹尾が取り扱ってきたファインペーパーの中から一銘柄ずつを選び、その紙との「出会い」や「思い出深い作品」について語っており、図版などと一緒に見開きで紹介している。掲載の順番は、1949年に生まれた代表的なファインペーパー、NTラシャから年代順になっており、さらに1950年代から1990年代までを10年ごとに切り分け、紙業を取り巻く社会の動きやデザイン、印刷業などについての解説を間に加えている。巻末には「竹尾記念出版物」の図版と解説、竹尾、製紙関係、国内外のデザイン関係、社会一般の動向を網羅した年表「竹尾の紙とデザインの歴史」と、他社の発表したものも含めた年表「ファインペーパー年表」を収録している。

木の図書館
Biblioteko en Arbore
作：小林 エリカ KOBAYASHI Erika



おとなも読みたい絵本

『わたしのくまさんに』

デニス・ハシュレイ／文 ジム・ラルムシェ／絵
今江祥智／訳 (BL出版)



森で1枚の紙切れを拾ってから、そこに書いてある小さなしるし（文字）が気になって、何年も見返してたくまは、ある日、森の中の丸太小屋の前で本を読んでいる女の人と出合います。女の人にはくまに本を読んであげようになり、女の人の声は言葉を超えてくまの琴線に触れるのです。「もっと物語を聞きたい」というくまの強い思いは、絵の愛らしさと相まって忘れられない表情となるでしょう。また、この絵本で多くは語られないくまの拾った紙切れに書かれたメッセージや、女の人にはどんな別の物語があるのかを想像してみてください。友人と、恋人と、家族と…だれかとのつながりが、こんなに誠実なものだったらいいなと思う一冊です。

? インフォメーション

お知らせ

●出版検閲に使われた本『内務省委託本』の画像DVDを発売

千代田図書館が所蔵する『内務省委託本』には、検閲官によるコメントや決裁印、問題視された箇所につけられた傍線などが残されています。今回、当館が所蔵する約2,400冊の内務省委託本の中から、そのような「検閲の痕跡」が多く残る約320冊の画像をDVD化し、発行しました。出版検閲の調査研究にご活用ください。

『千代田図書館蔵「内務省委託本」画像DVD(検索機能付き)』

- 検閲官による書き込みのあるページをカラー写真で収録。
- 書名・著者名・出版社名などの一般的な書誌事項に加え、「検閲官印の有無」や「コメントの有無」などでも検索可能。



発行：千代田区立千代田図書館指定管理者
発行日：2013年1月30日
価格：10,000円(税込)※数量限定
購入についてはカウンターか電話でお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

●企業にビジネス書100冊を出張して展示いたします。

いま使えるビジネス書100冊すべてに、ビジネスやビジネス書に精通した方々のお薦めコメントをつけて、ご依頼のあった企業内で、一定期間展示を行います。社員への読書推進や人材育成などにお役立てください。

場 所
社屋の会議室や休憩所など

費 用
千代田区の企業は無償、区外の企業には郵送料(実費)をご負担いただいております。

お問い合わせ
千代田図書館企画担当



ご利用案内

●千代田図書館
千代田区九段南1-2-1千代田区役所9・10F
03-5211-4289・4290

開館時間 [月～金]10:00～22:00 [土]10:00～19:00
[日・祝・12/29～12/31]10:00～17:00
休館日 第4日曜日/1月1日～1月3日/特別整理期間

●昌平ましかど図書館
千代田区外神田3-4-7
03-3251-5641
開館時間 [日～土]9:00～20:00 [12/29・30]9:00～17:00
休館日 第2日曜日/12月31日/1月1日～1月3日/特別整理期間

●千代田区男女共同参画センター MIW(ミュウ)情報ライブラリ
千代田区九段南1-2-1千代田区役所10F
03-5211-8845
開館時間 [月～金]9:00～21:00 [土]9:00～17:00
休館日 日曜日/祝日/特別整理期間/年末年始

●日比谷図書文化館
千代田区日比谷公園1-4
03-3502-3340
開館時間 [月～金]10:00～22:00 [土]10:00～19:00
[日・祝]10:00～17:00
休館日 第3日曜日/12月29日～1月3日/特別整理期間

●神田ましかど図書館
千代田区神田司町2-16
03-3256-6061
開館時間 [日～土]9:00～20:00 [12/29・30]9:00～17:00
休館日 第3日曜日/12月31日/1月1日～1月3日/特別整理期間

●千代田Web図書館
<https://weblibrary-chiyoda.com>
※電子図書の貸出・返却ができます。千代田区内在住・在勤・在学の方がご利用になれます。

●四番町図書館
千代田区四番町1
03-3239-6357
開館時間 [月～金]9:00～20:00 [土]9:00～19:00
[日・祝・12/29・30]9:00～17:00
休館日 第1日曜日/12月31日/1月1日～1月3日/特別整理期間

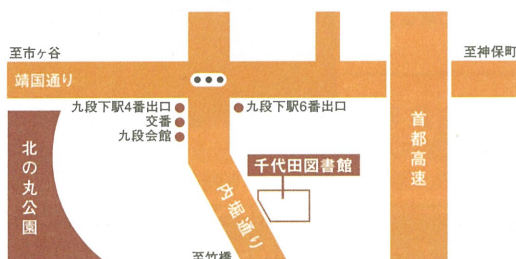
●ちよだパークサイドプラザ区民図書室
千代田区神田和泉町1
03-3864-8931
開館時間 [月～土]9:00～19:00 [日・祝]9:00～17:00
休館日 第3日曜日/特別整理期間/年末年始

ご利用について

- ・千代田区内在住・在勤を問わず、どなたでもご利用になれます。図書などを借りるには、「貸出券」が必要です。ご住所とお名前が確認できるもの(健康保険証、免許証、学生証など)をお持ちください。
- ・「貸出券」は千代田区内のすべての区立図書館(室)で共通です。

貸出数(全館合計)

	区内在住者	区外在住者	
図書/紙芝居/雑誌	10冊2週間	5冊2週間	予約がない場合に限り、貸出期間内に1回のみ1週間延長することができます。返却期限の当日までにご連絡ください。
CD	3点2週間	3点2週間	
DVD/ビデオ	2点2週間	2点2週間	



さあ、図書館にいこう。

千代田区立千代田図書館

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10F
TEL:03-5211-4289・4290
<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp> <http://mobile.library.chiyoda.tokyo.jp>

アクセス：東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新大塚線「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分

千代田図書館情報誌 vol.12 発行日:2013年4月 発行元:千代田区立千代田図書館



携帯に簡単アクセス



このパンフレットは、ノンVOCインキで印刷しています。